

様式第6号（認定を受けようとする課程において使用する施設・設備等に関する書類）

1 施設・設備の概要

①認定を受けようとする学部・学科等	②①の学部・学科等における免許状の種類	③①の学部・学科等において使用する施設・設備	④備考
教育学部 こども教育学科	中一種免（国語） 中一種免（保健体育）	講義室 演習室 体育館 運動場	37室（大学全体） 23室（大学全体） 1棟（大学全体） 1面（法人全体）
⑤施行規則第66条の6に定める「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」、施行規則第2条第1項表などに定める「情報機器及び教材の活用」及び施行規則第3条第1項表などに定める「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」において使用する施設・設備			
<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理室（4室、学生が利用可能な端末を約130台設置） ・講義室（模擬教室1室、電子黒板機能を搭載しているプロジェクターを設置） ・教育学部では、模擬授業及び教材研究用として、デジタル教科書をインストールしたノートパソコン及びタブレットの貸し出しを行っている。 			
⑥施行規則第66条の6に定める「体育」において使用する施設・設備			
運動場、体育館、トレーニングルーム、多目的室			

2 図書等の状況

①認定を受けようとする学部・学科等	②①の学部・学科等における免許状の種類	③②の教職課程に関する図書の種類	④冊数
教育学部 こども教育学科	中一種免（国語） 中一種免（保健体育）	教科及び教科の指導法に関する科目 教科及び教科の指導法に関する科目 教育の基礎的理解に関する科目等	366冊 82冊 9,937冊
		合計（実数）	10,385冊

※「教科及び教科の指導法に関する科目（国語）」、「教科及び教科の指導法に関する科目（保健体育）」に関する図書の冊数が不十分であるため、①2025年度より4年間、各教科100冊ずつ、②2029年度以降は、各教科50冊ずつの図書を購入していく予定である。そのために、2028年度までは年間50万円、2029年度以降は年間25万円の予算を確保した。さらに、2029年度に退職予定の国語関係教員から、約2,000冊の図書の寄贈を予定している。

3 教職課程に関連のある施設・設備、役割など

① 教職センター

教職センターは、教育実習に関する支援、教職をめざす学生の相談及び助言、教員採用対策講座等の企画及び実施に関する業務を行っている（教職センター規程）。教職センター内には、免許状取得や教育実習、教員採用試験等に関する資料を揃え、教員採用試験へ向けた自学習の場として、机や椅子、電子黒板、ホワイトボードなどを設置している。また、当番制で教職センター客員教員（非常勤の指導教員）が常駐し、学生が適宜利用できるよう開放しており、教員をめざす学生同士で、グループワークやグループディスカッション等を含む相互交流の場ともなっている。事務局（修学支援室）とも

緊密に連携(情報共有)を図り、学生の履修指導等も行っている。

② メディアセンター

メディアセンターは、教育及び研究の充実・発展に資するため、図書・学術情報及びその他資料の収集・管理及び提供に関する業務を行っており、学生が利用する閲覧室エリアには、教職に関する科目等の雑誌・書籍を配架している。また、メディアセンターは学内ネットワーク、ICT機器の管理の機能も果たしており、必要に応じて授業用のPC端末（Windows、i Pad、Chromebook）の貸し出しや学生のワークスペース用PC端末等の運用と補助サービスを行っている。このように、学生が教育に関する必要な知識、情報を入手しやすい環境を整え、教育学部を含めて教職をめざす学生を対象とした学生支援の一つとしている。

② 講義室(模擬教室)

模擬教室は主に教育実習の教材研究、授業研究、模擬授業の実施のための授業用の施設であると同時に、希望する学生が自主的に模擬授業の練習として利用できる。小・中学校の教室イメージを再現し、学校現場の教室環境に近い機能を整備している。児童生徒用の机・椅子、チョーク用黒板、電子黒板、ホワイトボード、液晶プロジェクター、書画カメラなどのほか、動体検知式の録画カメラを設置し、録画・さいせいすることにより、模擬授業の振り返りに活用することができる。